



「海と山が出会うまち」はんなん森里川海プロジェクト

阪南市

事業概要

阪南市の象徴的な環境資源である自然共生サイト「阪南セブンの海の森」を対象に、アマモ場が広がる大阪府最大級の自然系海岸と豊かな海を育む里山が残り、海と山がつながる希少な環境を活かした『すだて遊び』や『カキ養殖』、『酒蔵体験』などを通じて、森里川海の価値を体験し、保全へ還元する循環型モデルを創出します。



今年度取り組み内容

- 海のコンテンツ(すだて遊び、カキ養殖等)の観光資源の可能性の検証
- 自然共生サイト「阪南セブンの海の森」の現状を把握するための沿岸域調査
- 山の関係者へのヒアリングとワークショップによる現状把握と課題整理
- 海と山が出会うまちの方向性の立案
- その他資源の課題整理とコンテンツの磨き上げ



今年度成果

現地確認や地域関係者へのヒアリングを通じ、海と山の現状や課題を共有しました。その結果、自然共生サイト「阪南セブンの海の森(アマモ場)」を中心に、森里川海の循環価値を体験として可視化する方向性が明確になりました。すだて遊びやカキ養殖、酒蔵体験などを通じ、環境保全と観光が相乗する持続可能な地域づくりのモデル構築に向けた具体的検討を進め、地域全体で循環型の取り組みを推進する基盤を築きました。



次年度以降の目指す方向性

すだて遊びやカキ小屋に加え、酒造りを通して栄養循環を学ぶ体験ツアーを実施。事業者の環境意識向上を促進し、収益の一部を保全へ還元します。旅行者には自然体験や清掃活動など直接環境に寄与する機会を提供。多様な主体が参加する循環型モデルを形成することで持続的な関係人口の拡大を目指します。

問い合わせ先

阪南市 担当:中村 隆志

電話:072-471-5678 メール:t-nakamura@city.hannan.lg.jp